

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：

進行非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の新たなbiomarker探索を目指した18F-FDG PETへのdeep learning適用の検討

・目的:免疫チェックポイント阻害剤は、多くの癌治療の標準治療となっている。一般的な肺がん診療において、18F-FDG PETが行われている。最近の研究ではSUVmax, MTV(metabolic tumor volume), TLG(total lesion glycolysis)といった定量的指標が、奏功や予後と関連しているといった報告がされている(1,2)。そのため、今回、我々はCT画像に加えてPETに対するdeep learning解析を加えることでより精度を高く、奏効率や無増悪生存期間、全生存期間の予測に結びつけることができないかを検討する。

・研究期間：臨床研究IRB承認日から2024年12月31日まで

・研究対象：2016年1月1日から2022年5月27日までに手術不能・根治照射不能非小細胞肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬単剤治療が施行され、治療開始前に当院でPET検査が施行された症例を対象とする

利用し、又は提供する試料・情報の項目

当院のFDG-PET/CT画像を提供する。付随する情報として、患者背景(年齢、性別、組織型、Stageなど)、最良効果や無増悪生存期間、全生存期間などの評価項目に記載した内容も共に提供する場合があります。

利用する者の範囲

・氏名:橋本 康佑

・研究機関の名称：埼玉医科大学国際医療センター

・所属 / 役職：呼吸器内科/助教

・役割及び責任：データ収集、管理

・氏名:平松 薫 研究機関の名称：埼玉大学 役割及び責任：データ解析

・氏名：解良 恭一

・研究機関の名称：埼玉医科大学国際医療センター

・所属 / 役職：呼吸器内科/教授

・役割及び責任：データ収集、管理

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

・氏名:橋本 康佑

・研究機関の名称：埼玉医科大学国際医療センター

・所属 / 役職：呼吸器内科/助教

・役割及び責任：データ収集、管理

・氏名:平松 薫 研究機関の名称:埼玉大学 役割及び責任:データ解析